

1 単元 開国と近代日本の歩み

2 目標

- (1) 新政府の成立とその諸改革から新政府の政治の特色や時代の転換の様子を意欲的に追究しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 新政府の政治の特色について考察し、他の時代との比較や関連付けを通して時代の転換の様子を捉えることができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 課題解決のために必要な資料を適切に選択、処理、活用し、新政府の成立とその諸改革から政治の特色や時代の転換の様子について捉えたことを、自分の言葉で表現することができる。
(資料活用の技能)
- (4) 新政府の政治と他の時代の政治の特色を比較し、明治時代が新政府の成立によって、近代国家を目指していた時代であったことを理解することができる。(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元は、学習指導要領の歴史的分野「内容(5)近代の日本と世界Ⅰ」をうけて実施する。ここでは、開国とその影響、富国強兵、殖産興業、文明開化などについての学習を通して、新政府による諸改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解することを主なねらいとしている。また、新政府による諸改革の特色については、欧米諸国との関わりや社会の近代化など、近世から近代への転換の様子を、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できるようにすることもねらいとしている。

本学級の生徒に「鎖国政策について自分の言葉で説明しなさい。」という実態調査を行った。鎖国政策について「外交関係と海外情報の統制」、「大名の統制」のように、歴史的事象を関連付けて説明できた生徒は学級の約2割であり、「外国と交流しない政策」、「キリスト教を禁止した」のように、一面的な見方からの説明が多く見られた。これまでの実践においても、歴史的事象について自分の言葉で表現する活動を取り入れてきたが、習得した知識を活用し、根拠を示して説明することに関しては十分な指導を行ってこなかった。この実態を改善するためには、歴史的事象について様々な視点から解釈し、根拠を示しながら自分の言葉で表現する学習の充実が必要であると考えた。

そこで本研究では、時代の転換の様子を政治や社会などの変革に着目し、どのような特色が生まれたのかを解釈し、自分の言葉で表現できるようにしていきたい。そのためにまず、歴史的事象の意味や意義を様々な視点から調べ、他の時代と比較しながらワークシートにまとめる。次に他の時代との共通点や相違点に着目して、様々な視点から解釈できるように、歴史的事象を順位付ける活動をする。そして歴史的事象同士を比較したり、関連付けたりして解釈した時代の転換の様子を表す構造図(以下「構造図」という。)を作成する。まとめでは、構造図を基にレポートを作成するようにする。このような活動を通して、時代の転換の様子を様々な視点から解釈し、根拠を示しながら自分の言葉で表現することで、生徒の歴史的事象について考察する力や説明する力を育成していきたいと考え、本単元を構想した。

4 指導計画(6時間扱い)

(※本時は第5時)

時	指導内容	評価規準	関心	思考表	技能	知理
1	新政府の成立の過程や、時代背景を概観し、単元を通しての学習課題を設定する。	学習課題の解決に向けての問題意識をもち、単元を通して明治時代初期の学習に関心を示している。	◎	○		
2	明治政府がとった政策について調べ、それが大名や武士および民衆に与えた影響について理解する。	江戸時代の政治と比較して、中央集権国家の成立の過程について理解している。		○	○	◎
3	明治政府が西洋に負けない国づくりを目指した富国強兵政策について調べ、その目的について理解する。	江戸時代の政治と比較して、富国強兵政策の目的が西洋に負けない国づくりであることを理解している。		○	○	◎
4	江戸時代と比較しながら、人々の暮らしがどのように変化したかを調べ、また文明開化が今の時代にどのような影響を与えたか理解する。	江戸時代の政治と比較して、文明開化と学制について理解している。		○	○	◎
⑤	歴史的事象を順位付ける活動を通して、新政府の改革が明治時代の変化に与えた影響を考える。	友達の意見と比較することで、時代の転換の様子について様々な視点から解釈している。		◎	○	○
6	新政府の諸改革によって、人々の生活が大きく変化したことを、江戸時代と比較して自分の言葉で表現する。	新政府の改革の特色を考察し、時代の転換の様子を捉え、自分の言葉で表現している。		◎	○	

5 本時の学習

(1) 目標 新政府の改革が明治時代初期の変化に与えた影響について考えながら、歴史的な事象を順位付ける活動を通して、江戸時代から明治時代への時代の転換の様子について、友達の意見と比較することで様々な視点から解釈することができる。

(2) 準備・資料

個人 歴史資料集 地図帳 ワークシート 歴史的な事象を記した語句シート
歴史的な事象を記したラベル

全体 プロジェクター ノートパソコン パソコン画像（諸改革に関するもの）

(3) 展開

自己肯定感を高めるために

- ◎は言語活動活性化への手だて
- ◆は配慮を要する生徒への手だて
- ☆は豊かな心への取り組み

学習活動・内容	指導上の留意点
<p>1 資料を見て、学習してきた新政府による諸改革を確認する。 五箇条の御誓文・廃藩置県・版籍奉還 殖産興業・解放令・地租改正・徴兵令 文明開化・学制</p> <p>2 学習課題を確認する。</p>	<p>・新政府による諸改革について振り返ることができるように、諸改革に関わる資料を提示しながら確認する。</p>
<p>新政府の改革が明治時代の変化に与えた影響を考えながら、ダイヤモンドランキングを作ろう。</p>	
<p>3 最も影響を与えた改革について予想する。 ・立派な工場を造った殖産興業だと思う。 ・学制は日本の教育にとって重要だね。</p> <p>4 新政府による九つの諸改革について、明治時代の変化に与えた影響が大きいと考えられる順に並び替え、ダイヤモンドランキング的な手法を取り入れた順位付けの活動を行う。 ・文明開化が世の中を変えたから一番。 ・五箇条の御誓文が最初に出されたものだから影響は大きい。</p> <p>5 最上位と最下位に順序付けた理由についてワークシートにまとめる。 ・四民平等が一番大切だ。 ・地租改正はあまり影響はなさそう。 ・徴兵令によって日本の軍隊は欧米に負けないものになったから一番だ。</p> <p>6 友達の意見と比較したり、関連性を見つながら、それぞれが作成した順位付けについて、班で発表し合う。</p> <p>7 順位付けを修正する。 ・殖産興業の方が与えた影響は大きい。 ・徴兵令も学制も同じくらい重要だ。 ・やはり文明開化が重要な役割を担ってる。</p> <p>8 新政府の諸改革に共通していることは何かを考え、話し合う。 ・近代化につながっている。 ・外国を見習っている。</p> <p>9 次時の見通しをもつ。</p>	<p>☆学習の意欲を高めるため、出し合った意見や考えはすべて賞賛する。</p> <p>◆ダイヤモンドランキング的な手法を取り入れた順位付けの活動について説明し、再確認できるように前面のスクリーンに説明画面を映しておく。</p> <p>・全体の傾向を視覚的につかませるため、最上位に選んだ改革が記されたシートの上に名前マグネットを貼るようにする。</p> <p>◆順序付けた理由について書けない生徒には、これまでのワークシートを参考にするように助言する。</p> <p>◎理由を明確にししながら、新政府による諸改革の順序付けができる。 【ワークシート、思考・判断・表現】</p> <p>◎時代の転換の様子について、様々な視点から考察できるように、班で友達の意見と比較しながら発表し合うよう助言する。</p> <p>◎友達の意見と比較することで、時代の転換の様子を様々な視点から解釈できる。 【ワークシート・思考・判断・表現】</p> <p>・新政府の諸改革に対する学級全体の傾向を共有し、認識の変化を具体的な形で捉えさせることができるように、再度、名前マグネットを黒板に貼るように指示する。</p> <p>・新政府の諸改革の目的が、すべて近代化を目指すことにあったことをもとに確認する。</p> <p>・単元のまとめとして、レポートを作成することを伝える。</p>
<p>「明治時代に入り、なぜ多くの変化が現れたのだろうか。」に対する答えをまとめよう。</p>	